

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 4 月 1 日作成)

小委員会名	住宅計画小委員会	主 査 名：山口 健太郎 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：黒野 弘靖
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、「住居・住宅地 (大会発表論文分類による)」を対象とした課題を検討することを目的とし、下記の重要かつ緊急性のある課題を検討する。</p> <p>① 最近 10 年間の住宅計画の調査研究のまとめと出版企画                  ② 東日本大震災の住宅復興等に関する研究                  ③ 住宅計画・開発事例の動向と研究課題の整理                  ④ 住宅系研究論文報告会の実施                  ⑤ 住宅研究における若手研究者の論文発表会の開催                  ⑥ 住宅関連学会、及び設計事務所研究会等との意見交換</p> <p>2016 年度：・最新の住宅計画・開発事例についての研究 (1 年目)                  ・東日本大震災の住宅復興等に関する研究                  ・公開研究会、第 11 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>2017 年度：・最新の住宅計画・開発事例についての研究 (2 年目)                  ・公開研究会、第 12 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>2018 年度：・最新の住宅計画・開発事例についての研究 (3 年目)                  ・公開研究会、第 13 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>2019 年度：・公開研究会、第 14 回住宅系研究論文報告会の実施                  ・4 年間の活動成果を公表 (シンポジウム等)                  ・震災後 10 年を見据え復興を住宅計画の視点からまとめる</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 山口 健太郎 (近畿大学)、関川 華 (近畿大学)、新井 信幸 (東北工業大学)、内海 佐和子 (室蘭工業大学)、梅本 舞子 (千葉大学)、川崎 直宏 ((株)市浦ハウジング&プランニング)、佐々木 誠 (日本工業大学)、定行 まり子 (日本女子大学)、佐野 こずえ (近畿大学)、鈴木 雅之 (千葉大学)、高井 宏之 (名城大学)、高田 光雄 (京都大学大学院)、丁 志映 (千葉大学)、安枝 英俊 (兵庫県立大学)、安武 敦子 (長崎大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s8/top.htm">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s8/top.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	集合住宅の実践者による公開研究会 1. 賃貸マンションのリノベーション事例見学&講演会 参加者数 12 名 2. 非近居の子育て世帯に関する研究 参加者数 7 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 11 回住宅系研究報告会※ 参加者数 71 名 (資料名：第 11 回住宅系研究報告会論文集) ※建築社会システム、都市計画委員会、農村計画委員会との共同開催 2. シンポジウム「東日本大震災から 7 年 復興公営住宅における取り組みの これから」—研究者と実務者のクロストーク 4— 参加者数 49 名
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
<b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 集合住宅の実務者による公開研究会を2回開催した 2. 第12回住宅系研究報告会を開催し、住宅研究の討議、交流を促進した 3. 東日本大震災に関するシンポジウムを1回開催した
<b>委員会活動の問題点・課題</b>	当初の活動計画通りに活動が進められており、特に問題はない